



始動！『大崎耕土「世界農業遺産支援」プロジェクト』

生徒会と農業クラブが合同で行う、新プロジェクトが始動しました。世界農業遺産に認定された持続可能な水田農業を支える「大崎耕土」の伝統的水管理システムを学ぶとともに、川上から川下の南郷地区に至るまでの水資源や自然、歴史や人との繋がりを学ぶ地域貢献活動です。今回の活動では大崎市鳴子温泉中山平南原地区での農作物鳥獣被害対策の柵の設置を行いました。



第一回 6月28日(土)、大崎市鳴子温泉中山平南原地区で草刈り作業、地域施設花壇への植栽活動。参加生徒9名でした。

第二回 7月18日(土)、同じ南原地区で農作物の鳥獣被害対策の金網設置活動。参加生徒13名でした。

このプロジェクトは今後も継続し、世界遺産に関わる地域の要望に対応していきます。

進路ガイダンス

7月22日(水) 進路決定に向けて、全学年対象の進路ガイダンスが開催されました。

1学年は、「働き方&収入 仮想体験 ワークショップ」と就農トークショー。

2学年は、仕事と資格についてのワークショップとマナー講演 分野別分科会。

3学年は、進路志望理由書、履歴書の書き方講座と模擬面接指導。

進路について考えることができた一日となりました。求人票は7月1日(月)より公開されており、夏季休業中には応募前職場見学がある企業もあります。10月16日からの選考試験開始に向けて3年生は特に意識が高まりました。



8月の行事予定

3(月)~7(金) 保護者面談

11日~14日 閉庁

24(月) 全校集会、大掃除

25(火) 実力テスト①~⑤

26(水) SC来校日

26(水)~28(金) マナーアップ運動

27(木) 就職直前セミナー(3年)、就職レディネステスト(1年)

28(金) SSW来校日、眼科検診、ワックスがけ(5分短縮授業)

31(月) SC来校日

アグリサービスプロジェクトを新たな様式で実施

今年度はこれまで行っていた季節の草花苗の寄せ植え交流は行わずに、生徒が校内で作った寄せ植えを届ける活動を行いました。プランターは小牛田中学校、不動堂中学校、松島中学校、鹿島台中学校、松山中学校、南郷中学校、涌谷中学校へ贈呈し母校を訪れた生徒達はお世話になった先生方から高校生活へのエールをたくさんいただきました。



地域観光地緑化プロジェクト

新型コロナウイルス感染症によって来客数が激減した地域観光施設や飲食店へ農業を学んでいる私たちが何か力になれないかと考え、美里町内の宿泊施設、レストラン、農産物直売所への花壇植栽を行いました。

町内の農家レストラン「野の風」には新しい花壇を造成し、夏に咲く日々草と外周の斜面には芝桜の苗を300本植えました。



部活動の再開と各大会へ参加

7月18日(土) バスケットボール大崎地区交流戦に小牛田農林高校、松山高校との合同チームで参加しました。

7月23日(木) 陸上部大崎記録会へ参加しました。

新しい生活様式による学校生活の変化

①毎日のコロナ対応

毎朝の登校指導、検温確認、マスク着用指導を行い、学校生活ではソーシャルディスタンスを確保して活動しています。毎日放課後には、教室の消毒を行っています。安心して学べる生活環境を整え守っています。



②窓用エアコンの設置

生徒教室と選択教室に窓用エアコンが設置されました。また、視聴覚室と進路室へのエアコン設置工事が現在行われています。

③新型コロナウイルス感染症対応を踏まえたICTを活用した授業づくりの展開

宮城県教育委員会により、GoogleのサービスであるG suite for Educationを使用したオンライン授業が導入されました。これによってオンラインによる課題配布やアンケート、小テストなどが実施できるようになりました。7月27日(月)~7月31日(金)の期間には生徒・教職員向けの研修が行われ、夏休み以降の授業で活用されます。

学校からのお知らせ

令和2年度学校案内とポスターが完成しました。学校HPに掲載されていますのでご覧ください。
南郷高校ホームページ→



今月の礼譲和協

学校長より

7月下旬、例年であれば「梅雨」が開け、ギラギラと熱い太陽が照りつける暑い季節がやってきているはずですが、今年の梅雨明けは8月に食い込む予報が出されています。そんな中でも田畑の作物達は元気に成長を続け、稲はもうすぐ出穂し、そして開花の時期を迎えます。豊作になることを願うばかりです。学校生活では毎日コロナ予防対策に追われながらも、なんとか無事夏休みを迎えられるところまで来ました。しかし全国的には第2波と思えるような感染者が増加し、県内においても感染者が出始めました。改めて、毎日の手洗い・マスクの着用、そしてソーシャルディスタンスの確保。コロナにうつらない、うつさないを意識した新しい生活様式の再確認と実践が重要となり、御家庭でもしっかりと話し合い行動に移すことをお願いしたいところです。

さて、表面の報告でもありますが、今年度より新たに「大崎耕土『世界農業遺産支援プロジェクト』」として、地域支援をはじめました。これは水のありがたみと先人の水の利用の知恵を学びながら、それぞれの地域で必要とされる支援を行うことを目的として、1回目は江合川の最上流鳴子温泉中山平地区にて鳥獣防護柵設置の下草刈りと、2回目は柵取り付け作業を支援してきました。地元の人たちは人口減少と高齢化の中、猪から水田を守ろうと少人数で少しずつ作業を続けており、「生徒達の支援で作業が大幅に進んだ」と大変喜んでいただきました。また、現地では岩堂沢ダムや南原の穴堰について説明を聞き学習しました。さらに鬼首地区の水神様も見学できました。1滴1滴の滴が集まり南郷地域の恵みの水となっている内容が記された石碑にも感動しました。今後も最下流南郷地区を目指し、世界農業遺産に関わる学習と地域支援を継続し「地域に貢献する人材」となれるよう活動を進めて参ります。

